

消防局予算の概要

1 予算編成に当たっての考え方

火災、地震、豪雨、台風などのあらゆる災害に的確に対応する消防体制の確保や火災予防の推進はもとより、消防団や自主防災組織をはじめとした京都が誇る地域力、市民力の結集による地域防災力の向上につながる施策に重点をおいて予算編成を行った。

主要な施策として、消防体制については、北消防署の移転整備工事に着手するほか、経年防火水槽の補強・補修を行い、災害対応の拠点等となる施設の整備を着実に推進する。また、今後も増加が予測される救急需要に対応するとともに、高齢化社会における安心・安全を提供するため、京都府と連携して「#7119（救急安心センター事業）」の実施に向けた検討を行うほか、試行的な取組として、救急需要が増加する日勤時間帯のみ運用する救急隊を編成し、状況に応じて機動的に運用する。

予防対策については、引き続き、民泊等への火災予防対策を推進するほか、動画等を活用し、住宅用火災警報器の更なる設置・交換を促進する。さらには、新たに消火器の設置が義務付けられる小規模な飲食店等に対する指導を徹底するなど、地域・事業所と一体となった出火・焼死者防止対策に取り組む。

地域防災力の向上に係る取組としては、地域防災力の中核を担う消防団の更なる充実強化を図るため、引き続き、女性や若者をはじめとした入団を促進するほか、水災対策器材として新たに救命ボートを整備する。

また、平成30年度に多発した自然災害等を踏まえて、自主防災組織の相互の連携による、自主防災活動に関する課題の検討や解決に向けた取組を支援するとともに、分かりやすい動画を用いて適切な避難行動等についてより一層周知するなど、災害に強く、しなやかな、安心・安全の地域づくりを推進する。

2 主な新規・充実事業

<政策的新規・充実事業>

#7119の実施に向けた検討会	1,000千円
増加する救急需要への対応	3,000千円
災害に強くしなやかな安心安全の地域づくり	8,000千円

<局枠等新規・充実事業>

動画等を活用した住宅用火災警報器の更なる設置・交換の促進	1,900千円
小規模飲食店等に対する火災予防対策の推進	400千円

3 消防局主要施策の概要

項目	主要施策の概要	本年度予算額	前年度予算額
< 消防局所管 >	一般会計合計	千円 22,073,000	千円 22,107,000
1 消防体制		21,331,500	21,343,000
消防対策	消防活動拠点施設の整備 北消防署移転整備 消防水利整備 防火水槽の補強・補修 消防自動車整備 消防ポンプ車、高規格救急車など 増加する救急需要に対応する取組の推進 #7119の実施に向けた検討会 <政策> 増加する救急需要への対応 <政策> 救急高度化事業 メディカルコントロール体制の推進 応急手当の普及啓発	273,000 27,000 312,900 4,000 99,500 4,500	347,000 25,000 389,000 1,000 100,000 5,000
予防対策	予防消防推進 動画等を活用した住宅用火災警報器の更なる設置・交換の促進 <新規> 小規模飲食店等に対する火災予防対策の推進 <新規> 民泊等に対する火災予防対策の推進 など 文化財防火対策	53,000 4,500	58,000 5,000
2 消防団体制		715,500	745,000
消防団対策	消防団管理 消防団員退職報償金 消防団充実強化実行チームの活動支援 京都市ジュニア消防団の活動支援 など 消防団活動 消防団員報酬、消防団員手当	291,000 337,000	323,000 332,000

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
		千円	千円
	消防団運営 京都市消防団協会交付金	42,000	42,000
	消防団施設補助	25,000	25,000
	消防団車両整備	18,500	23,000
	消防団水災対策器材整備	2,000	—
3 自主防災組織の充実		26,000	19,000
自主防災組織の育成	自主防災組織の災害対応力の充実 災害に強くしなやかな安心安全の地域づくり〈政 策〉 など	26,000	19,000